

金協力で建設した「国立保健人材養成校」では個別専門家による運営指導を実施しているほか、「国立生物医学研究所拡充計画」の交換公文も締結されました。

警察官を育成 森林保全分野も

「平和の定着支援」では、現在、技術協力「市民と平和のための警察研修実施能力強化プロジェクト」を実施しています。コンゴ民政府は1997年、治安維持の強化を目的に「国家警察」を創設しましたが、多くの警察官を確保するため適正な採用基準のないまま反政府勢力の元構成員なども含む多様な人材が採用され、十分な研修も実施されなかった結果、警察官の質が担保されませんでした。そのため、犯罪捜

査の技術や経験はもとより、人権意識の強化などが必須となりました。

そこでJICAは2004年から国連などと連携しながら警察官に対する研修を開始。これまで全警察官の2割にあたる2万人を超える警察官を育成してきました。さらに、近年、研修を一元的に管理する学校・研修総局が国家警察の内部に設置されたことから、この協力では、警察官への研修に加え、同局を中心に研修運営能力の向上も目指しています。

他方、コンゴ民はアマゾン河に次ぐ広大な熱帯雨林を有するコンゴ河流域の森林面積の約65%を占めていますが、焼畑や違法伐採、鉱山開発などが原因で2040年までに同流域の森林の約7割が消滅する恐れがあると予測され、その保全活動が急務となっています。

そこで、JICAは「持続可能な森林経営及びREDDプラス促進のための国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト」を実施。同国が森林減少・劣化の抑制や持続可能な森林経営などにインセンティブを与えるシステム「REDD+」を導入できるよう、衛星画像と地上調査から同国の森林状態をモニタリングする体制を整えました。また、将来の二酸化炭素排出量の予測の実施についても支援しています。

コンゴ民は、長らく続いた混乱を経て、現在は復興の段階にあります。しかし、政治情勢は混沌としており、事業実施にあたっては安全対策が重要な位置を占めています。こうした中、当事務所は関係者の安全に留意しつつ多様な事業を通じてコンゴ国民の明日に貢献していきたいと考えています。

Professional Partner

産業界のニーズに合わせて 柔軟な職業訓練支援を



(株)オリエンタルコンサルタンツ
グローバル
総合開発事業部
建築開発部課長

澤下 理恵さん
SAWASHITA Rie

コンゴ民主共和国では、1991年の暴動発生以来、長年続いていた混乱からの復興や開発が進みつつある一方、若年層の失業や就業の不安定さが大きな課題となっています。こうした中、日本は2010年から「国立職業訓練機構」（INPP）に対して「職業訓練プログラム」を実施。職業訓練を行う施設を建設すると共に、INPPに所属する指導員の育成などを進めてきました。

私が携わっている「国立職業訓練機構能力強化プロジェクト」は、このプ

ログラムの一環として15年から新たに始まった協力です。それまで行ってきた指導員の能力強化活動を踏まえつつ、コンゴ民の産業界のニーズや動向に合致した、包括的な取り組みを進めている点が大きな特徴です。

例えば、指導員の能力強化分野を拡大し、従来の基礎的な技術能力研修に加えて、「自動制御」や「TIG溶接」など、より産業界が求める技術内容を反映した研修を実施。民間自動車製造会社と連携してコンゴ民や第3国での研修も実施しています。

さらに、訓練生が約半年間の職業訓練を受けた後に確実に職を得られるよう「出口支援」にも力を入れています。また、コンゴ民では経済的な不況の影響を受けて企業での雇用数が少ないことから、現地のマイクロファイナンス機関と連携して起業支援も開始。

INPPの訓練生などを対象に起業家を公募し、他者との差別化によって新たな顧客を生み出すことが期待されるアイデアに対して融資を行っています。

今後は、こうした取り組みを継続しながら、2019年末のプロジェクト活動の終了を見据えて、INPPの組織運営能力の強化にも取り組むほか、30校以上のINPP分校や他機関にも協力の成果を普及・拡大していく予定です。INPPがアフリカの「センター・オブ・エクセレンス」（中枢拠点）となることを目指し、民間セクターとの連携や起業支援のように現場の人々が真に求めることであれば、前例にとらわれることなく協力を追求したいと考えています。



独立行政法人 国際協力機構
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
二番町センタービル
<https://www.jica.go.jp>